

第 11 回 北茨城市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	第 11 回 北茨城市地域公共交通会議
開催日時	平成 26 年 6 月 24 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分
開催場所	北茨城市役所 2 階庁議室
出席者	別紙 1 のとおり
会議の議題	会議の成立について
および会議の内容	委員 20 人中、代理を含め 18 人が出席しているので、会議設置要綱の規定に基づき、本会議が成立したことを事務局より報告
	会長挨拶
	<p>本日は大変お忙しいなか、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>本日、11 回目の会議となりますが議題といたしまして、本年度、4 月より抜本的に見直し、運行を開始した「新・市内巡回バス」でございますが、毎日同ルート、同時間の運行により「便利になった」という意見をいただいている一方、市民の皆様方からは、「この地区を運行してほしい」、「運行便数が足りない」などの意見をいただいております。</p> <p>このことから、市事務局では広報誌などを通じて、市民の皆様からのご意見をいただき、より市民の方々の要望に近い運行を見直したいことから、運行計画の改善について、本日は皆様方からご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事の方に移りたいと思っております。事務局から説明をお願いいたします。</p>
	議題 新・北茨城市巡回バスについて
	<p>○北茨城市巡回バスの運行状況について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧ルートであった昨年 4 月・5 月と新ルートである今年の 4 月・5 月を比較し、利用人数はほぼ変わらない。 ・効率的な運行に成功したかのように思えるが、反面、市民に強要をさせてはいないか。 <p>○巡回バスの市民の要望について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 月 7 日～6 月 20 日までに 93 件 98 要望あった。 ・大津線 34 要望（全体の 35%） <ul style="list-style-type: none"> ① □大津西・平潟・五浦・浜道の復活 ② 白浜団地の復活 ③ 駒木・大日本集会所の復活 等 ・中郷線 47 要望（全体の 48%） <ul style="list-style-type: none"> ① □ 運行本数を増やしてほしい ② □ 下桜井（市営住宅付近）の復活 等 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ① 朝 8 時台の運行をしてほしい

② 電車との連絡をよくしてほしい 等

○市民要望を踏まえた巡回バスの改善について（協議）

委員：先程の事務局説明のように大日本地区のお年寄りには地域交通利用券（タクシー券）の月4枚だけでは厳しく、バスを増加してほしい、尚且つ道路沿いでは旧路線のように1本、中のとおりにしてほしいという要望を聞く。

事務局：1本、中のとおり、山の上のとおりのルートを再検討する。

委員：公共交通は市税であるが、市民の意見すべてを吸い上げるのではなく、より効率よく、運行すべきであり、前回新ルートにする際に五浦や平潟は地域交通利用券の利用者が多いため、あまり必要ないという話であったが、復興住宅も同じなのではないか。

委員：実際に入居が始まり、復興住宅に住んでいる人に話を聞くことが多いが、やはり、不便であるという意見は多数ある。周辺の利便性、ルートを廃止した経過も承知しているが、しっかりと検討していただきたい。

議長：前回と状況が少し変わっているということもあり、事務局で検討するように。

事務局：検討します。

委員：少し変更するスパンが早すぎるのではないかと。4月に新巡回バスになり、またルートが変更になるとなかなか市民に浸透しにくく、アンケートも毎年何月とか定期的にした方がいい。

委員：市民の要望をすべて聞き入れるのではなく、半年なら半年、1年なら1年やり、見直した方が良いのでは。まだ2ヶ月で時期尚早のような気がする。今後はバスの乗車率を上げる工夫が大事になってくる。

議長：貴重なご意見であり、今後事務局は広報活動やPRの仕方を考えるべきである。

事務局：市民によりよい広報活動やPRを考えます。

委員：平潟・大津方面を新たに復活する場合はどのように走るのか。

事務局：週2日です。参考までに旧巡回バスの時も2日でした。

委員：便数を増加したことにより、本数が減少する地区はあるのか。

事務局：華川線・磯原線の8便中1便を抜いた以外はありません。

抜いた1便も4・5月の実績で乗客数が極端に少ない時間であるため、事務局としては問題ないと捉えている。

経費の部分では現在バス4台で走っているがバス5台に増加するので、1,000万円程増加します。(1台1,000万)

委員：将来的にバスの運賃をあげることは考えているのか。

事務局：消費税・燃料の価格の上昇を考えるとありえる話であり、避けては通れない時期が来るのではないかと。

委員：80歳以上の方も多くなってきており、免許返還の推進もだいぶ浸透してきた。だからこそ、運賃があがっても乗るといった人が増加すると思う。また、今後長いスパン10年後を睨んで、骨太な計画を作るのもひとつではないか。

議長：確かに今すぐ早急に問題の解決をするというのも大事であるが、未来を見据えて計画するのも非常に大事である。しっかりと議事録にとどめ、今後活かすように。

事務局：今後の参考させていただきます。

○平成26年度タクシー助成事業について（報告）

- ・昨年1年間の交付者を6月23日現在でほぼ同数となっている。
- ・毎年右肩上がりで、ドアツードアということもあり市民から好評である。

議長：タクシー助成事業について何かありますか。

委員：なし

議 長：以上で公共交通会議を終了します。
活発なご意見を賜りましてありがとうございました。

事務局：以上をもちまして、公共交通会議を終了させていただきます。
長時間にわたり、ご審議くださりありがとうございました。

別紙1 第11回 北茨城市地域公共交通会議 出席者名簿

要綱に掲げる委員	委員選出団体	委員名	出欠 代理出席者
一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	茨城県バス協会	総務部長 柴田 文弘	出席
一般乗用旅客自動車運送事業者 (タクシー事業者)	茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事 鬼沢 秀通	出席
	県北ハイヤー・タクシー協会	(有)磯原観光タクシー 代表取締役社長 荒川 透	出席
一般貸切旅客自動車運送事業者 (貸切バス事業者)	(有) 太陽タクシー	取締役 山形 公一	出席
一般乗合旅客自動車運送事業者 (路線バス事業者)	日立電鉄交通サービス(株)	交通事業部乗合課長 永沼 人士	出席
住民又は利用者の代表	北茨城市連合民生委員児童委員協議会	会長 武田 藤夫	出席
	北茨城市高齢者クラブ連合会	会長 安島 健	出席
	日立製作所北茨城通勤会	事務局長 篠原 浩昭	欠席
	茨城福祉移動サービス団体連絡会	NPO 法人ウィラブ北茨城 代表 高松 志津夫	出席
	北茨城市校長会	中郷中学校 校長 篠原 義則	代理: 渡邊昭吉
	北茨城市社会福祉協議会	管理計画課 小野 明俊	出席
関東運輸局茨城運輸支局長又はその指名する者	関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官 飯田 孝志	出席
茨城県警高萩警察署長又はその指名する者	高萩警察署	交通課長 大曾根 重徳	代理: 中西主税
道路管理者	茨城県土木部 高萩工事事務所	道路整備第二課 課長 柏崎 元治	出席
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者	日立電鉄バス労働組合	執行委員長 鈴木広幸	欠席
その他交通会議が必要と認める者	茨城県企画部企画課 交通対策室	室長 川上 敬一	出席
	北茨城市商工会	事務局長 上遠野 忠浩	出席
	市議会	議長 鈴木 和栄	出席
市長が指名する市の職員	北茨城市	副市長 石田 奈緒子	出席
		市民福祉部長 高星秀穂	出席

事務局 (北茨城市まちづくり協働課)	まちづくり協働課長	塚原 和彦
	まちづくり協働課 協働推進係長	鈴木 基彦
	まちづくり協働課 主事	齊藤 駿